

「真の学力」を育てる

子どもトライアングル構想

福岡教育大学 副学長
前福岡県春日市教育長 **河鍋好一**

ふるさと春日のまち

私が教育長を務めた春日市は、政令指定都市福岡市の南隣に位置する。わずか十四kmの市域に一〇万を超える人口を擁し、小学校十二校、中学校六校がある。

昭和三〇年代までは、五つの集落で構成された小さな町であり、運動会を始め、学芸会などの学校行事には保護者だけでなく地域のほとんどの人々が参加し、それは町の大きな行事でもあった。また、集落ごとの様々な祭りには、子どもからお年寄りまでが参加し、人と人とのぬくもりが醸し出されていた。

それが、高度成長期を迎え、田畑や森が、住宅街やマンションに変貌し、年々人口が増えていった。近年でも小学校二校を新設するほど、少子化の傾向とはほど遠い地域である。私が教育長に就任した平成九年の八月の朝、登校中の小学二年生の女の子がアパートに引き込まれ、殺害されるという衝撃的な事件が発生した。住宅密集地での事件であり、子どもをみんなで見守り育てていこうとする

風土がなくなってきたことを痛感させる事件であった。子どもは宝であり、みんなで育てていこうとする春日のよさがなくなってきた状況の下、私の教育行政に携わる日々がスタートしたのである。

「真の学力」を求める

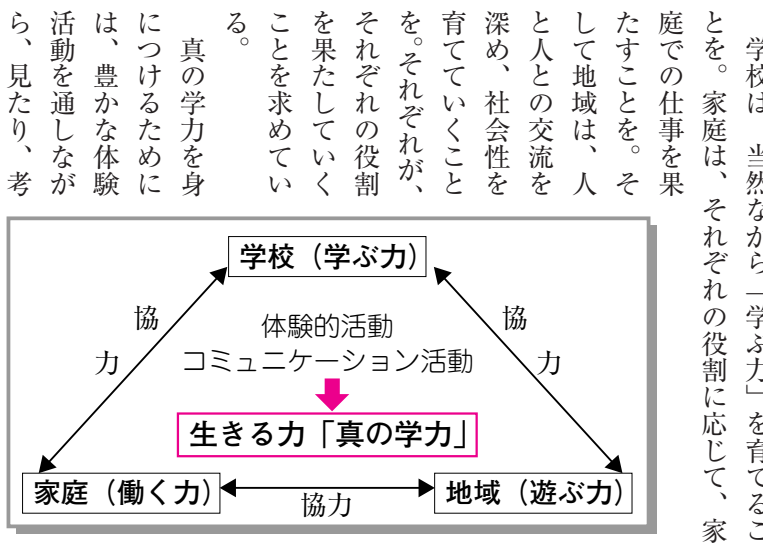
学校は勉強するところであり、しっかりと学力を培うことが最低限の役割である。今、当たり前のことが大きな課題となり、保護者も社会も、学校に学力向上を求めている。保護者は子どもを学習塾に通わせ、送り迎えをしている現状である。家庭での役割を、学校や塾に丸投げしている感もある。

この状況では、頭でっかちなだけで、足腰がしっかりした子どもが育っていないのではないかと危惧した。家庭が本来の役割を果たし、地域が子どもを見守ることで、学校が特色ある教育を推進でき、足腰の強い「真の学力」を持つ子どもを育てると考えたのである。

「真の学力」は、学校教育だけでは身につかない。家庭や地域での教育が結びついてはじめて、生きる力となる真の学力が育っていくのである。

子どもトライアングル構想

そこで、春日市では学校教育基本計画「子どもトライアングル21」を策定した。この図のように、子どもの豊かな体験活動やコミュニケーション活動を中核にし、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら連携し、子どもを中心としたトライアングルをつくりだすものである。



の説明を通し、理解と協力を求めていくことが大切である。

- 学校における三位一体の教育改革**
- ① 学校の自主性・自立性の尊重
(特色のある学校づくり)
 - ② 学校における確かな評価
(外部評価の活用)
 - ③ 積極的な情報公開
(保護者・住民への説明責任)

ある学校の取り組み、その成果

春日市の学校で、どのような活動が行われているのか、一つの学校の取り組みを紹介したい。

市の北端に位置する日の出小学校は、平成十一年に新設された学校である。同校は、真の学力を育てるために「共学・共育・共生」の学びを求め、毎日の授業の中で子どもが豊かなふれあいの体験を通していくことができるように取り組んでいる。「共」という文字には、子ども同士が「共に」学ぶだけでなく、家庭・地域の人々と「共に」という意味も含まれている。

保護者や地域の人々に授業を開放し、子どもたちや、学校の取り組みの様子をいつでも見られるようにするとともに、地域の人々が学校に関わる機会を増やしながら、家庭や地域での学びの広がりを積極的に働きかけている。

例えば、学校の先生だけで企画・運営するのが普通である運動会や文化祭などの学校行事に、同校では地域の人々が企画段階より参画する体制をとっている。共同して学校を運営し、子どもたちとふれあい、共に学べる場を設けることで、家庭・地域との関係を強化している。関係強化によって、学校を中心とした新たな地域行事も誕生している。また、家庭での学びの習慣を身につけるための『学びのすすめ』を学年毎に作成し、徹底を図れるよう家庭と連携して取り組んでいる。子どもの学びの成長を記録する通知票についても、学校と家庭が共に記録を行い、交流を深めている。

家庭・地域が教育に関心を持ち、関わりを強めることで、子どもの学びが豊かになってきている。交流活動が活発化し、学校を中心とした豊かなコミュニティが形成されつつある。コミュニティの形成・強化によって、子どもの安全確保のために、地域の人々が進んで企画し、実践がなされるようになった。また、ある地区では、集会場などに子どものための図書コーナーを作り、子どもの読書力を高める取り組みが始まった。

このように、学校・家庭・地域の協力体制が強まることで、街全体の教育力が高まっていることを感じているのである。

学校運営に地域の力を

現在春日市では、二つの中学校区が、地域運営学校の研究指定を受け、家庭・地域ぐるみでの学校づくり、「真の学力」育成に取り組んでいる。その他の学校でも、市の基本計画を受け、家庭・地域を巻き込んだ学びの環境づくりに取り組んでいる。

私は、学校における教育改革は、多くの権限を学校に与え、保護者や地域と共に、特色ある学校づくりに努力していくことが必要であると考えている。新たな学校管理規則を作り、小さなことまで学校に指示していたことをなくし、学校が保護者、地域に責任を持ち、子どもが真の学力を培っていきける態勢をとる。そのためには、校長は、保護者や地域へ